

Yusei Kikuchi
埼玉西武ライオンズ投手、背番号16。1991年6月17日生まれ。盛岡市出身。花巻東高時代に甲子園を沸かし、2009年ドラフト1位で同球団に入団。本格派左腕。



結果が出てほっとした 2017シーズン

市長 市民やファンが菊池投手の活躍を期待していた中で、ことし最多勝・最優秀防御率の2冠を達成しました。2017シーズンを振り返っていかがですか。

菊池 うれしいとか、喜びよりもほつとしたというのが一番です。毎年けがをしていましたし、皆さんの期待する何^かに応えられたんだろうと思うと、やっぱり物足りない部分もあったと思います。早く結果を出したいという焦りも正直ありました。まず、ほっとしたというのが一番ですね。

市長 それだけ期待の大きさを感じたのですね。

菊池 高校の時から、街を歩けば皆さんに声を掛けていただいて、そのたびに「来年こそは」と思っていたんですけど、やっぱり思うような結果は出なかつたので、やっとこういう結果になつてほつとしています。

市長 ことしみたいなピッチングをしていると、野球が楽しくてしようがないんじゃないですか。

菊池 勝っている時は楽しいですね。

それと、勝ったびに喜んでくださる方も増えていて、ライオンズファンや県民の皆さんに喜んでもらえているなという実感を、こどしは特に感じました。「もっと頑張んなきゃ」と毎試合思

いながら投げていました。
市長 埼玉西武ライオンズは花巻ゆかりの選手が多いチームですが、花巻の話をすることはありますか。
菊池 あります。行きつけのお店はどことか、冬の寒さの話とか、そういう話はしょっちゅうしてますね。

市長 花巻に3年間いて、どういうことが思い出として残っていますか。
菊池 99^{キロ}は練習の思い出ですね。しないくらいうれしくて、その1^{キロ}のために99^{キロ}頑張るという感じでした。(笑)。甲子園で勝った時や、甲子園出場を決めた時は、それまで経験したことないくらいうれしくて、その1^{キロ}たがすごかったんでしょうね。

市長 やはり高校の時の試合では重圧を決めた時は、それまで経験したことないくらいうれしくて、その1^{キロ}たがすごかったんでしょうね。

菊池 僕らは選抜も気付かぬうちにどうか、あつという間になぜか勝つて準優勝してしまつたんです。夏は力はないかったです。周りが勝つて当たり前という雰囲気になつて「僕らそんなに強くないのに」と思いながらでも、やっぱり勝たなきやいけないと思つていたので、甲子園で勝つ、甲子園に行くというよりも県予選を負けちゃいけないというプレッシャーの方が何百倍もありましたね(笑)。

市長 夏の大大会、よく逆転したなどいう試合がありましたよね。菊池投手が途中降板してしまつて、そんな中での逆転勝利。あれは市民や県民に感動を与えたと思います。素晴らしい試合で、チームワークはどこにも負けない

菊池 僕ら高校1年生の時に甲子園を経験しているんですが、抽選会で岩手県代表と戦うというと「よつしやー」という声が聞こえるんですよ。相手チームから。それがすごく悔しくて、絶対3年生で出るときは「花巻東が試合に出る」という歓声に変えようねと、チームで話していました。勝つに従つて観客や、岩手県からの応援団が増えているので、岩手の皆さんと一緒に戦つていてほつとしています。

市長 その気持ちが試合に表れていたと思います。そういう姿勢が市民や県民の熱狂的な応援の要因になつたので、花巻東高校にみんな集まつて、花巻東高校にみんな集まつてきました。小中と一緒にチームで戦つたメンバーや、小学校からのライバルたちも花巻東高校を目指してきたの

菊池 野球はチームワークや思いやりなど、いろんな要素が含まれている斯特伐^{スコア}などと、いろいろな要素が含まれている斯特伐^{スコア}だと思います。野球人口が岩手県の減つていると、帰つてくるたびに相談されます。そこを僕らが活躍することで野球熱が上がつたりとか、目標にしてくれる子どもたちが1人でも増えたりすればいいなと思っています。富士大学や花巻東高校から出た選手が中大となって野球界を盛り上げていければと思います。

勝つに従つて応援団が増えていって、岩手の皆さんと一緒に戦っているんだと感じました



菊池投手に贈られた市スポーツ栄光賞(賞状・トロフィー)
同賞は過去に、花巻東高校硬式野球部(2009年)、富士大学硬式野球部(同)、東京ヤクルトスワローズ畠山和洋選手(15年)、北海道日本ハムファイターズ大谷翔平選手(16年)が受賞

埼玉西武ライオンズ 菊池雄星投手が 花巻での生活を振り返る

12月4日、市は菊池雄星投手に「花巻市スポーツ栄光賞」を贈呈しました。スポーツを通じて市民に勇気と感動を与えた本市ゆかりの団体・個人に贈られる同賞。菊池投手はプロ野球パ・リーグで最多勝と最優秀防御率の2冠に輝いたことが評価されました。

同栄光賞の受賞について菊池投手は「ことし多くの賞をもらった中でも思い出に残る賞」と喜びを話しました。「高校1年から卒業まで花巻に住み、花巻が好きになった。花巻・岩手に育ててもらった」と口にした菊池投手。再び花巻の地を訪れた今回、高校時代の思い出を語ってもらいました。

聞き手●花巻市長



表彰式のため市役所を訪れた菊池投手。出迎えた多くの市民から歓声が贈られました